

平成27年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

1. はじめに

少子高齢化の進展、地域社会や家族構成の変化に伴い、高齢者の置かれている状況やライフスタイルも多様化する中で、地域においては生活困窮、介護、虐待問題など生活課題は多岐にわたり、対応も困難な状況があります。

東日本大震災以降、自治会の解散や住み慣れた地域からの転出・転居等により、従来の地域コミュニティ機能の低下に伴い、人と人とのつながりが希薄化し、互いに支え合って暮らしてきた隣近所との交流も少なくなるなど、地域社会は大きく変容しています。

震災から4年目の本年、水産加工団地の造成、魚市場の整備促進、災害公営住宅の建設等、生活・産業基盤の再生が着実に進み復興の歩みが加速されており、震災後初となる南郷地区災害公営住宅への入居が始まりましたが、未だ、多くの方が応急仮設住宅等に入居されており、今後において、災害公営住宅や防災集団移転事業等の進捗に伴い、新たな定住先においてのコミュニティ構築等が課題となっています。

また、介護保険制度の改正によって、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるための多様な組織により支え合う地域包括ケアの体制整備が求められています。要介護者に多様なサービスを提供する関係機関や地域住民、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人等の地域資源を効果的に活用できる仕組みづくりによる、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が必要不可欠です。

こうした流れの中で、本市においては、昨年地域包括ケアシステム構築のため、市内の関係機関、団体等が連携・協力し、一体となって推進することを目的に「気仙沼市地域包括ケア推進協議会」が設立されました。

地域包括ケアのシステムの目指すところは、本会が目指す「誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会の実現」と一致し、地域福祉の向上を目標とするものであります。

本会は、地域福祉を推進する中核的役割を担う民間団体として、被災した方々の災害公営住宅入居などへの自立・復興支援として、地域住民と連携・協力しながら、住民参加による見守り、助け合い活動を行うとともに、コミュニティ構築支援事業の継続と地域包括ケアシステムの構築を積極的に推進するとともに、第2期「気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の実施に向け、行政や関係機関、団体と協働・連携しながら、取り組んで参ります。

2. 重点目標

1 地域福祉の推進

東日本大震災による被災者支援に最善の努力を傾注しながら、地域包括ケアシステムの本格的な構築を積極的に推進するとともに、地域福祉活動計画に基づき、地域住民、民生委員・児童委員、ボランティア、NPO団体等と連携・協働し、地域における生活課題解決のため、相談・支援体制の強化、地域コミュニティの再編に鋭意取り組んでまいります。

特に、介護保険制度改革では、医療と介護の一体化した展開や日常生活圏域での地域包括ケアシ

ステムの推進が掲げられ、2025年を見据えた改革が行われます。とりわけ在宅サービスについては、介護予防の一部を地域支援事業に移行することとなり、住民主体の助け合い活動や生活支援サービスの拡充を図り、地域の実情に応じた支援体制を構築することが課題となっています。

地域福祉の向上は、これまでの行政主体のサービス提供から専門職によるサービス・支援に加え、関係機関及び住民参加を重視した手法への転換が必要であり、社協がこれまで取り組んできた助け合い活動や住民参加型在宅福祉サービス等の実践を踏まえ、住民主体の地域包括ケアシステムの推進を積極的に提案してまいります。

2 介護・福祉活動の拠点の整備・活用

介護保険制度においては、本年4月に大きな法改正を迎えます。

訪問介護、通所介護の在宅サービス事業については、介護予防給付の対象外となり、行政が実施する地域支援事業に位置づけられることから、各自治体間でサービスの格差につながることが懸念されます。

このことは、利用者本位の良質なサービス提供に努める当会においても、影響を受けることが予測されることから、今後、情報収集に努めるとともに、介護保険等の事業収入を確保しつつ、自主財源を活用しながら事業の安定化と将来を見据えた活動拠点の整備・活用を図ってまいります。

3 人材確保・育成

現下の厳しい経済環境、雇用情勢の中で、有資格者をはじめ必要な人材の確保が一層困難な状況が続いています。

のことから、ハローワークのほか、あらゆる方法・手段により積極的に求人募集を行い、潜在的な有資格者の再就職が果たせるよう職場環境、職員待遇の改善を図り、福祉・介護分野での安定的な人材確保を図ります。

今後においても、本会職員のさらなる資質向上に向けた専門的な知識、技術の習得を目指し、職員研修の充実強化を図りながら、職員の交流、情報の共有に努めるとともに、新たな雇用を含め人材の確保、育成、定着を目指します。

4 組織管理体制の強化

本会で展開している介護保険事業や障がい者支援事業においては、利用者との契約に基づくサービスの提供、一定の採算性の確保など、法人としての経営責任や経営判断が一層強く求められることから、それらを担うことができる組織体制、業務管理体制の構築を図ります。

また、社協組織が地域住民からの理解と信頼を得るために、法令遵守の下、自己研鑽に努め、住民の要望や福祉ニーズに適格に対応した施策や活動に積極的に取り組み、リスク管理や制度の改正を注視し、組織管理体制の強化を図ります。

5 福祉サービス提供における「安心・安全」の確保

地域住民がより安心・安全な暮らしが送られるように、近隣への声掛けと復興支援センターや

サポートセンター、高齢者相談室等を活用した小地域福祉ネットワークの強化に努めます。

また、本会施設・事業所を安心・安全に利用できるよう防災体制の整備とともに、施設・事業所における感染症、衛生管理、情報の共有等のソフト面と車輌、施設等のハード面の整備も充実・強化し、福祉サービス提供における「安心・安全」の確保に努めます。

6 各地域における福祉サービスの強化

地域特性を生かした福祉サービスの充実に努めるとともに、制度によるサービスだけでは解決できない福祉課題、生活課題の広がりに対応するため、社協内部の連携を強化します。

(1) 本所（法人全体）

- ① これまで実施してきた事業の評価及び再点検を行い、地域福祉活動計画との整合性を図りながら、発展的な事業展開が図られるよう、実践的な活動推進に努めます。
- ② 介護保険サービスの充実・強化に努めるとともに、人材や情報等の資源を生かし小地域福祉ネットワークの支援に取り組みます。
- ③ 東日本大震災を教訓として「気仙沼市社会福祉協議会防災計画」を策定し、災害ボランティアセンター等の体制強化を図るため、内部研修及び訓練を実施するとともに、ボランティア団体・NPOなどと連携し、地域ボランティアの養成に努め、災害に強い安心安全な地域づくりを目指します。

(2) 唐桑支所

- ① 地域の様々な福祉課題・生活課題の解決に向けて地区社協や自治会等が主体となって取り組む福祉活動へ積極的に支援を行います。
- ② 介護保険サービスの充実・強化に努めるとともに、人材や情報等の資源を生かし小地域福祉ネットワークの支援に取り組みます。
- ③ 「気仙沼市社会福祉協議会防災計画」と連動し、災害時に備え、ボランティア団体・NPOなどと連携し、地域ボランティアの養成に努め、災害に強い安心安全な地域づくりを目指します。

(3) 本吉支所

- ① 地域の様々な福祉課題・生活課題の解決に向けて地区社協や自治会等の小地域が主体となって取り組む福祉活動へ積極的に支援を行います。
- ② 介護保険サービスの充実・強化に努めるとともに、人材、情報等の資源を生かし小地域福祉ネットワークの支援に取り組みます。
- ③ 地区社協をはじめとして関係機関、団体と連携の下に「福祉まつり」などの住民参加型の交流事業に取り組みます。
- ④ 「気仙沼市社会福祉協議会防災計画」と連動し、災害時に備え、ボランティア団体・NPOなどと連携し、地域ボランティアの養成に努め、災害に強い安心安全な地域づくりを目指します。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施することにより、それぞれの役割の再認識、責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内容
理事会の開催	地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともにすすめていくため、理事会、評議員会を中心として事業の推進を図ります。 定例理事会 3回 定例評議員会 2回 理事 16名、評議員 33名 当初予算額 771,000 円
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を行います。 定例監査会 2回 監事 3名 当初予算額 183,000 円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に、適切に対応し、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護し、利用者の苦情に円滑・円満に解決します。また、研修会への参加など、資質の向上を図ります。 当初予算額 20,000 円

2. 地域福祉事業

(1) 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、福祉活動の充実に努めます。

事業名	内容
地域福祉活動計画の推進	第2期地域福祉活動計画の2年目にあたり以下を重点的に実施し、地域住民が地域福祉活動に主体的に参画し地域を創っていく、福祉のまちづくりを推進します。 <ul style="list-style-type: none">・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会を開催し、委員会において活動計画で掲げた取組みの進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を年間2回開催し、各地区社協の代表委員において、活動計画で掲げた具体的な取組みの実施状況の点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行います。・地区社協ごとに住民懇談会を開催し、上記活動計画推進委員会での評価等の報告・説明を行うとともに、地域ならではの具体的な地域福祉活動に向けた話し合いや取り組みを進めます。 当初予算額 調査研究事業 328,000 円

	<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市や地区社協とともに地域福祉推進フォーラムを年2回程開催し、行政、社協、自治会、福祉関係団体などの関係者が集い、意見を交える場をとおして支えあいの地域社会の構築を支援します。 <p>当初予算額 ネットワーク活動事業 704,000円</p>
地区社協活動への支援	<p>地区社協会長会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年2回以上開催し、情報共有と意見交換を行ないます。特に今年度は災害公営住宅入居が本格化することから、福祉のコミュニティづくりに向けた先駆的な活動事例を発信し、住民参加による相互支援の広がりを図ります。 <p>地区社協活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉コーディネーターの配置に向けて、人材育成を柱とした研修等を行ないます。 ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業へ活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。 <p>当初予算額 2,715,000円（地区社協活動支援事業区分） 704,000円（ネットワーク活動事業区分）</p>
ふれあい相談センターの運営	<p>毎週月曜日から金曜日まで相談員を配置し、住民の困りごとや悩みごとの総合相談窓口として位置づけ、相談の内容によく耳を傾け、住民に寄り添える相談所として運営し、必要に応じて市社協の事業や関係機関などに繋ぎます。また、抱えている困りごとや悩み事が複雑多様化していることから、各種専門相談を実施し、より専門的な相談を行える場の提供に努めます。</p> <p>当初予算額 2,031,000円（生活相談事業区分）</p>
本吉支所生活相談所の運営	<p>多様化する生活課題に対応するため、6名の民生委員の協力を得て、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで相窓口としての生活相談を実施します。また、月曜日以外については支所職員にて相談対応を実施します。</p> <p>当初予算額 2,031,000円（生活相談事業区分）</p>
小地域福祉ネットワーク活動の推進	<p>地域懇談会等の地域住民の集まりの機会を捉えて、身近な住民ができるで支援していくための小地域福祉ネットワークへの理解を図り組織づくりを進めます。また、活動の具体的、実践的な推進を図るため小地域福祉ネットワーク活動推進会議を設置します。</p> <p>当初予算額 704,000円（ネットワーク活動事業区分）</p>
広報紙の発行	<p>本会並びにボランティアセンター（復興支援センター）ホームページでのタイムリーな情報の提供、社協だより（全市：年6回発行）をとおし、本会事業や住民福祉活動の紹介、制度・サービスの周知など広報活動を充実させます。</p> <p>当初予算額 2,327,000円（福祉育成援助活動区分）</p>
本吉地域福祉まつり	<p>「みんなでいろんな輪をつくろう」を開催テーマに市民が楽しく主体的に集うことにより福祉を身近に感じるとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう一人ひとりの自発的な行動と共助について考え方理解を深める場として</p>

	<p>開催します。開催月：6月 当初予算額 269,000円</p>
本吉地域ひまわり会 交流事業	<p>一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりを目的にボランティア団体及び本吉響高等学校の協力を得て、公民館施設等を活用しながら年5回実施します。実施月：7月、10月、12月、1月、3月 当初予算額 323,000円</p>
善意銀行の運営	<p>市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用に努めます。</p>
屋内ゲートボール場 の運営	<p>市民の福祉向上と健康の増進及びスポーツの振興のために、適切な施設の維持管理に努め、利用促進を図ります。 当初予算額 2,642,000円</p>

(2) 地域包括ケアシステムの構築推進

専門職等によるサービス・支援とともに、住民の参加を重視した地域の生活支援の充実に努めます。

地域包括ケアシステムの構築推進	<p>気仙沼市地域包括ケア推進協議会におけるアクションプランの策定や事業推進にあたっては、構成団体と連携・協力して一体的に取り組むとともに、その中心的な役割を担います。</p> <p>なお、社協が取り組む小地域福祉ネットワークの構築を図り、地域包括ケアシステムを推進します。</p>
住民主体の助け合い活動や生活支援サービスの拡充	<p>多様な生活支援ニーズに対応するとともに、「つながり」などを通じて社会的孤立を防ぐため、地域福祉活動計画と連動し、住民主体の助け合い活動や生活支援サービスの拡充を図ります。</p>
社協部門間の連携強化	<p>制度によるサービスだけでは解決できない福祉課題や生活課題の広がりに対応するため、社協内の部門間の連携を強化します。</p>

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等へのより一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターにおいての、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣等、ボランティア育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めます ・地域における様々なニーズを解決するために養成講座を開催し、地域福祉やボランティアに携わる人材のすそ野を広げ、地域力の向上を目指します。 ・地元ボランティア団体の交流会開催により、今後、気仙沼の新たなまちづくり
---------------------------	---

	<p>りを共に担う仲間として、相互理解と協力体制づくりを進め福祉のまちづくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアスクールについては、毎年夏期に共催してきた岩手県水沢市にある知的障害児施設「たばしね学園」と継続して事業を行うとともに同種の事業を行うマザーズホームと共同し、児童生徒の福祉に関する理解を深められる内容を検討し実施します。 <p>当初予算額 2,069,000 円（ボランティア活動育成事業区分）</p>
--	--

4. 福祉教育

市内小中学校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒の福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	<p>福祉教育活動費補助金交付事業</p> <p>学校教育における福祉活動への活動費の補助により継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。</p> <p>福祉教育、企業、団体への職員派遣事業</p> <p>年間を通して依頼に基づき地域、学校等において要望に応じた外部講師、職員等の派遣を行い、福祉に関する理解を深める機会を提供します。</p> <p>敬老作文募集事業</p> <p>敬老の日に因んで敬老作文の募集をすることにより、児童の高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。</p> <p>当初予算額 467,000 円（児童青少年福祉活動事業区分） 2,069,000 円（ボランティア活動育成事業区分）</p>

5. 資金貸付等事業

支援が必要となった世帯に資金の貸付や必要な相談に応じることにより、生活の安定や生活意欲の助長が図られるよう事業を推進します。

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	<p>低所得世帯等の生活支援をするため、制度の周知を徹底し、関係機関と連携しながら、住民の生活の安定のための相談支援に取り組みます。また、生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活福祉資金の貸付のみならず新法を活用することにより、より一層効果的に相談者の自立を図ることができるよう関係機関との連携を強化した取り組みを進めます。</p> <p>当初予算額 8,882,000 円（災害対応事業含む）</p>

生活安定資金貸付事業	低所得世帯に対して小口資金を貸付し、生活安定が図られるよう担当民生委員と連携し、世帯の支援を行います。また、世帯の現況を把握し、債務管理の強化を図ります。
	当初予算額 1,013,000 円

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	被災した低所得世帯の生活の復興を支援するため、制度の周知を徹底し、関係機関と連携しながら、住民の生活復興のための相談支援に取り組みます。
特例緊急小口資金貸付事業	震災対応時に貸付けた資金の債権管理と被災者の生活状況に応じた償還等の支援に努めます。

6. 援護活動

火災被害に遭った世帯に対し、その生活の安定に早期に資するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	気仙沼市内に発生した火災等による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。
	当初予算額 2,327,000 円（福祉育成援助活動事業区分）

7. 生活支援・障害福祉事業

(1) 在宅障がい者福祉事業

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障がい者の福祉サービスに新たに取り組むとともに、視覚障がい者の外出支援、情報提供に努めます。

事業名	内 容
日常生活自立支援事業（呼称：まもりーぶ気仙沼・南三陸）	基幹的社協として気仙沼市及び南三陸町を圏域としたサービスを実施します。認知症高齢者、精神障がい者、知的障がい者等で対象となる方が、日常、安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用補助や各種利用料の支払い代行を行うほか、事業の周知・啓発に努め、専門員・生活支援員の資質向上のための研修を実施します。また、適切な支援計画の作成及び財産管理等の徹底に努めます。 当初予算額 10,102,000 円（福祉サービス利用援助事業区分）
障害者福祉の推進	障害者福祉活動事業（視覚障害者ハイキング） 春期又は秋季に視覚障害者の野外活動の機会を作ることで、外出の機会が少なくなりがちな視覚障害者の余暇活動を支援し気分転換を図るとともに、市民ボランティアにも参加し相互に交流と理解を深める内容を検討し実施します。 録音サービス事業

	<p>視覚障害者等への情報提供の一環として、朗読奉仕グループの協力により「広報けせんぬま」や「社協だより」等を録音し、希望者に配布することにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報発信に努めます。</p> <p>点訳サービス事業</p> <p>視覚障害者への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら点訳サービスを行うことにより、確実な情報確保を進めます。</p> <p>当初予算額 障害者福祉活動事業 205,000 円</p>
ガイドヘルパー派遣事業	<p>年間を通して依頼に基づき視覚障害者の社会生活支援を目的として外出時に介添を行うガイドヘルパーを派遣します。また、登録ガイドヘルパーの要望に応じフォローアップの実施、登録者不足時の養成研修等を実施します。</p> <p>当初予算額 障害児者福祉活動事業 384,000 円</p>

(2) 指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法の趣旨に従い、また、気仙沼市障害者施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する障害のある利用者の意思及び人格を尊重し、本人の立場に立ち、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援します。また、職員研修を通して職員の資質の向上と法令順守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼市松峰園 (多機能型事業所 : 就労移行支援・就労継続支援 B 型)	<p>雇用されることが困難な在宅の障害を有する方に対し、利用者本位のサービス提供及び利用者の権利擁護を旨とし、利用者の自立支援に努めるとともに、多様化するニーズに配慮したサービス体系を整備し、併せて経営基盤の安定に努めます。</p> <p>当初予算額 88,999,000 円</p>
気仙沼市みのりの園	<p>利用者一人ひとりが地域で自分らしく暮らすことができるよう、関係機関と連携を深めながら日常生活及び社会生活の支援を適切に行います。利用者の意思や個性を尊重し、障害特性に配慮しながら適切に対応すると共に、地域とのつながりをつくりながらの施設活動や就労支援活動の充実を図る中で、利用者の主体性と社会性を伸張し満足度向上に努めます。</p> <p>当初予算額 44,174,000 円</p>
気仙沼市マザーズホーム (多機能型事業所 : 児童発達支援・放課後等デイサービス)	<p>利用者のニーズを調査しながら、長期的な展望に立った支援を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児部は障害特性や発達段階に応じた支援計画を作成し療育に努めます。 ・ 小学部は社会体験や自己決定力の向上を目指した支援を展開します。 ・ 気仙沼地域の同事業者と連携を深めて、利用者の福祉向上に努めます。 ・ 施設の機能を開放し、療育相談や子育て支援の充実に努めます。 ・ 非常時の対応力を身につけるため、災害を想定した訓練や体験を行います。 <p>当初予算額 25,523,000 円</p>

松峰園相談支援センター (特定相談支援事業所)	利用者または障害児の保護者からの生活全般に係る総合的な相談に応じ、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に配慮し、利用者または保護者の選択に基づいた適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的、効率的に提供されるよう支援します。 当初予算額 702,000 円
指定共同生活援助事業（介護サービス包括型）「つばさ」	地域での自立した生活を望む障害者に対し、適切な支援を行い、生活技術を高め安心した生活が営めるよう努めます。また、地元自治会、民生委員・児童委員等との連携の強化を図り、支援ネットワークの構築を進め併せて関係調整に努めるとともに、防災対策の徹底を図り、安心、安全な地域生活が継続的に送れるよう支援に努めます。 当初予算額 6,758,000 円
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、障害特性に配慮しながらきめ細やかなサービス提供に努めます。 当初予算額 2,080,000 円
訪問介護ステーションからくわ	障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、関係機関と綿密な連携を図り、総合的かつ効果的なサービス提供に努めます。 また、サービス提供体制を強化し安定経営に努めるとともに、職員研修の参加によるサービスの質の向上、事故防止と感染予防の徹底に努めます。 当初予算額 535,000 円
ヘルパーステーションもとよし	障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、決め細やかなサービス提供に努めます。また、サービス提供体制を強化し安定経営に努めるとともに、職員研修の更なる充実によるサービスの質の向上に取り組みます。 当初予算額 9,827,000 円

（3）地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき気仙沼市が行う規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ (身障)	利用者・家族の意向を尊重し丁寧に寄り添い、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう良質で安心できるサービス提供し、常に介護の質の向上に努めます。又、地域の医療・福祉関係機関との連携を大切にするとともに、事故防止と感染予防を徹底します。 当初予算額 1,000,000 円
訪問入浴サービスもとよし (身障)	利用者と家族の意向を尊重し丁寧に寄り添い、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう安全で良質なサービス提供に努めるとともに、職員研修を強化しサービスの質向上に努めます。 当初予算額 1,313,000 円

8. 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点に置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	年間を通して依頼に基づき家庭外への移動困難な方の社会生活支援を目的としたリフト付ワゴン車の貸出及びボランティアによる移送を行います。 当初予算額 255,000 円
生活支援型食事サービス事業	栄養バランスのとれた食事の提供と安否確認を行うことで年間を通して 100 名に及ぶ利用者、家族等が安心できるように、関係者間で密に連絡調整を行い、安定的にサービス供給できるような体制の維持を図ります。 当初予算額 3,902,000 円
在宅ふれあい型交流事業	高齢者等の孤立予防と高齢者同士又は地域住民との交流を通して、住民同士が支え合う心の醸成を図ります。 当初予算額 829,000 円（老人福祉活動事業区分）
安否確認訪問サービス事業	虚弱な一人暮らしの世帯、虚弱な高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達を通じた声掛け訪問による安否確認を行います。また、より広範なサービス提供するために複数事業者との提携に取り組みます。 当初予算額 125,000 円
介護機器貸出事業	緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。 当初予算額 30,000 円

(2) 老人福祉センターの指定管理

高齢者が健康で豊かな生活が送れるよう各種相談や地域の方々との支援等により、生きがいづくりや自立生活の援助に取り組みます。

センター名	内 容
気仙沼市老人福祉センター 福寿荘	気仙沼市の条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与できる体制を充実させます。介護予防事業も併せて充実させ展開します。 当初予算額 19,300,000 円
本吉老人福祉センター（生きがい活動支援通所事業）	センター事業である生きがい活動支援通所事業（元気老人デイサービス事業）の実施により、高齢者が健康で心豊かな生活を送れるよう各種相談に応ずるとともに、慣れ親しんだ地域の方々との交流や趣味活動等を通じて、生きがいづくりや自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図ります

	<p>す。この事業は現在建築中の新施設「(仮称) 本吉健康福祉センター」へ活動拠点が移動となることからスムーズな移行となるよう配慮しながら新施設での事業の充実を図ります。本吉老人福祉センターにおいては、施設の維持管理を徹底し、安全で居心地のよい環境づくりに努めます。</p> <p>当初予算額 640,000 円</p>
--	--

(3) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護を要する高齢者が可能な限り在宅での快適な生活がおくれるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。事業は、日常的な自主点検等による法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざして実施し、さらには事業の採算性に留意するとともにサービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

① 居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	<p>住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、利用者の立場に立ち生活全体を支えるケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。また、主任介護支援専門員配置等による加算等の適正な業所体制を維持強化します。</p> <p>当初予算額 19,183,000 円</p>
燐さん館ケアプランセンター	<p>特定事業所加算(Ⅱ)一人当たり 300 単位の加算を新特定事業所加算(Ⅱ)一人当たり 400 単位の加算に変更することで体制を強化し、より専門性の高いケアマネジメントの実施に努めます。また、他職種や地域の各機関との連携を図ることで、利用者がその人らしく安心して暮らせるように支援します。</p> <p>当初予算額 21,686,000 円</p>
津谷居宅介護支援事業所	<p>利用者の立場に立ち、介護保険事業と地域福祉推進事業の双方をつなげ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える視点でケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。事業所として運営基準等の法令遵守の徹底にむけた管理機能を強化するとともに、介護支援専門員一人一人の更なる質の向上を図り、中重度者や支援困難ケースへの積極的な対応を行うなどサービスの質の向上に努めます。</p> <p>当初予算額 39,133,000 円</p>

② 訪問介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	<p>要介護または要支援にある利用者が、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう、きめ細やかなサービス提供に努めます。</p> <p>事業の運営、サービス提供にあたっては、常に法令順守に配慮します。</p> <p>当初予算額 25,988,000 円</p>
訪問介護ステーションからくわ	<p>利用者が住み慣れた家庭等（利用者宅）にホームヘルパーが訪問し、身体介護、生活援助等のサービスを提供致します。</p> <p>サービスの提供にあたっては、利用者一人ひとりの心身の特性を踏まえて援助計画を策定し、家族を含めた関係機関との連携を密に質の高いサービスを提供し、家族の精神的・身体的負担の軽減を図ることに努めます。</p> <p>又、積極的に研修等に参加し自己の向上に励み、事故防止と感染予防対策を徹底しながら、効率的で効果的かつ安定した適正な経営に取り組んで参ります。</p> <p>当初予算額 21,287,000 円</p>
ヘルパーステーションもよし	<p>住み慣れた地域で安心して生活できるよう、職員一人一人の知識と介護技術のスキルアップに向けた計画的な研修機会を設定し、きめ細やかで質の高いサービスの提供に努めます。継続的な課題である介護職員確保については、常に地域に目を向け福祉への理解を深めながら雇用につながる機会づくりを検討していきます。20名を超える職員数であることから事業管理を強化し効率的で効果的かつ安定したサービス提供に取り組み、在宅生活を支えていきます。</p> <p>当初予算額 40,045,000 円</p>

③ 訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ	<p>利用者・家族の意向を尊重し、地域の医療・福祉関係機関と連携して、利用者が満足する良質で安心できるサービスを提供するとともに、職員研修を強化しサービスの質の向上に努めます。又、職員が感染症の媒体にならないよう衛生管理と事故防止を徹底しながら、効率的で効果的かつ安定した適正な経営に取り組んで参ります。</p> <p>当初予算額 11,718,000 円</p>
訪問入浴サービスもよし	<p>利用者と家族の意向を尊重し丁寧に寄り添い、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう安全で良質なサービス提供に努めるとともに、職員研修を強化しサービスの質向上に努めます。また2台の訪問入浴車により効率的かつ効果的にサービス提供ができるよう利用者のニーズに沿</p>

	った取り組みを進め安定経営に努めます。 当初予算額 18,913,000円
--	--

④ 指定通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燐さん館デイサービスセンター	要介護者、要支援者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者の希望や心身の状況、有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう努め、家族の精神的、身体的負担軽減を図ります。 唐桑地域の特性をつかんでもう一歩ふみ込んだサービスを実施し增收と経営基盤の安定確保を図ります。 当初予算額 75,043,000円
気仙沼市福寿荘デイサービスセンター	介護保険に関する各種法令等に従い、介護を必要とする高齢者が可能な限り在宅で快適な生活が送れるよう適切なサービスを提供し、心身の悪化防止や介護者等の介護負担軽減を図ることに努めます。 施設運営に関しては、地域福祉の推進や公益性を認識し、地域に根ざし信頼されるよう努め、利用者から選ばれる施設を目指し、かつ安定経営に努めます。 当初予算額 38,602,000円
やすらぎデイサービスセンター	介護保険の改正による介護報酬単価の引き下げ等に対応すべく、継続的に事業内容を見直し、関係機関との連携強化、様々なケース（病態）に適切に対処できるように専門研修等によるサービスの質の向上に努め、より安定した経営ができるよう努めます。 当初予算額 44,091,000円
大谷デイサービスセンター	職員の介護技術等のスキルを高めるため計画的な研修を実施するとともに利用者の特性に配慮したサービス提供を行い、満足度を高めて利用率向上を図ります。また、地域との繋がりを常に意識し、住民や地域ボランティア等の交流等の機会を積極的につくるなかで創意工夫を行い、さらには社協の各種事業とも連携しながら社協ならではの通所介護施設としての付加価値を高める取り組みで安定経営に努めます。 当初予算額 36,589,000円

⑤ 認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内 容
グループホーム「桑の実」	認知症の状態にある要介護高齢者の方で、9名（1ユニット9人定員）の方が入居し、家族的な雰囲気の中で顔馴染みの人達と一緒に、安心して共同生活をしながら、認知症状の進行の緩和を図るとともに、その人らしい生活が送れるよう努めます。また、日常生活での機能訓練・健康管理

	理・相談、援助等を行い、安心と信頼の絆を大切に、入居者的人格を尊重し、入居者の立場にたったサービスの提供を図って参ります。
	当初予算額 37,215,000 円

⑥ 福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	安心して在宅生活が送れるよう、福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努めます。また、住宅改修などの関連環境分野の専門知識取得と併せ、理学療法士等の専門職との連携強化に努めます。介護保険法改正によりこれまで以上に法令遵守を徹底するため事業管理の強化、利用者保護の視点を重視し、適正な経営に取り組みます。 当初予算額 13,687,000 円

9. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
気仙沼地区応急仮設住宅入居者等サポートセンター運営事業	応急仮設住宅等から災害公営住宅等への移行期に入り、被災住民が新たな生活へスムーズに移行できるように支援していきます。また、応急仮設住宅生活が続く入居者の孤立等を防ぐため、生活相談員等による戸別訪問を中心とした相談支援や関係機関、団体等との連携により、閉じこもりや生活不活発病の防止・介護予防の推進、健康増進を図ります。 当初予算額 31,959,000 円
社会的包摂「絆」再生事業	東日本大震災の被災者等の孤立化の予防と自立に向けて、安心した地域生活が送れるよう、決め細やかな支援と地域住民による福祉コミュニティづくりを推進します。 被災者への訪問活動と地域支援が連動した福祉コミュニティづくりを目指します。 ① 応急仮設住宅、みなしふ設住宅、自立再建者等を巡回訪問し、孤立化の防止や見守り、社会参加の支援、各種相談を関係機関に繋ぐなど問題の早期発見と課題解決に向けた支援を行います。 ② 行政等の関係機関をはじめ、地区社協や自治会、民生委員、ボランティア等、地域の支援団体等との連携を図りながら交流会を開催し、被災者間のみならず、地域住民が支え合える関係を構築する福祉コミュニティづくりを支援します。 ③ 災害公営住宅入居や防災集団移転の本格化による要援護者の転入居、並びに応急仮設住宅等へ残る方へのサポートなど、支援者間での連携をより密に行うことにより、支援の取りこぼしや途絶え及び支援の重複がな

	<p>いよう一体となった支援に努めます。</p> <p>④ 被災者のフェーズに沿った支援が適切に行えるよう、職員の資質向上を図ります。</p> <p>当初予算額 121,231,000 円</p>
北部地域包括支援センター	<p>唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携基盤を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。</p> <p>① 地域包括ケア構築に向けた取組みを行います。</p> <p>② 住み慣れた地域で自立した生活の継続に向けた支援をします。</p> <p>③ 安心して暮らしていくための高齢者の尊厳と権利を守っていく取組みを進めます。</p> <p>当初予算額 25,880,000 円</p>
南部地域包括支援センター	<p>本吉地域の地域組織及び関係機関との連携をさらに進め、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が持続できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図ります。</p> <p>①地域包括ケア構築に向けた積極的な取り組みを行います。</p> <p>②住み慣れた地域で自立した生活の継続に向けた支援をします。</p> <p>③安心して暮らしていくために高齢者の尊厳と権利を守っていく取り組みを進めます。</p> <p>本吉地域として、気仙沼市立本吉病院等における医療機関や関係機関との連携強化や認知症について地域ぐるみでの支援ができるよう住民等への理解を深める取り組みを積極的に進めます。</p> <p>当初予算額 25,724,000 円</p>
高齢者実態把握事業	<p>高齢者の生活状況を把握するため訪問調査を行い、日常生活の中に隠れているさまざまな問題やニーズについて、地域包括支援センター等と協力・連携しながら、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、さまざまな社会資源等を活用し、課題解決に向けた支援をします。</p> <p>受託金収入 344,000 円（津谷在宅介護支援センター区分）</p>
家族介護者交流事業	<p>高齢者を介護している家族に対して、日帰り旅行を通じ介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放することと、参加者の心身のリフレッシュを図ります。また、交流を通じて互いの介護に対する課題解決を支援します。年2回の実施を予定します。</p> <p>当初予算額 403,000 円（在宅介護リフレッシュ事業区分）</p> <p>当初予算額 159,000 円（津谷在宅介護支援センター区分）</p>

介護者教室事業	高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回の開催を予定します。 当初予算額 54,000円（津谷在宅介護支援センター区分）
介護予防普及啓発事業	介護予防活動の普及啓発や地域における自発的な活動者の育成支援を行い、介護認定されていない高齢者に対し、要介護状態となることを防ぐとともに、運動器の機能向上、口腔機能向上、栄養改善等のプログラムを取り入れた介護予防教室を開催し、継続して介護予防が図られるよう支援します。 当初予算額 788,000円（津谷在宅介護支援センター区分）
外出支援サービス事業	リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と在宅福祉サービスを提供する場所及び医療機関等との間の移動を支援します。 当初予算額 232,000円
大谷学童保育事業	児童福祉法改正により、利用児童がこれまでの3年生から6年生までに拡大されるとともに今後は運営形態が変更されていくことから、移行期にある27年度は大谷地区との関わりの機会づくりを積極的に行い、地域ぐるみでの運営を意識するなかで学童保育サービスの充実及び質の向上に努めます。また、継続的な避難訓練などリスク管理をさらに徹底しながら安心かつ安全な事業運営に努めます。 当初予算額 4,922,000円
気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業	被災した高齢者等の災害公営住宅や防災集団移転先での生活再建や自立生活を支援するために、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声掛け・相談等を行い、また、住宅におけるコミュニティへの参加勧奨により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努め、介護や生活困窮等の予防や対処に必要なサービスを、関係機関等に速やかにかつ的確につなげるよう調整する地域の拠点機関としての充実強化を図ります。 また、生活援助員が適切に高齢者等の相談等に対応できるよう、研修や講義による資質向上を図ります。 当初予算額 14,680,000円

10. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市民生委員・児童委員協議会	民生委員・児童委員活動の円滑な推進を図るとともに、事務委託契約に基づき協議会の適正な事務に努めます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協及び南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、ブロック内の民生委員児童委員活動の推進に努めます。 事務委託契約を締結し、事務の適正処理に努めます。
気仙沼市共同募金委員会	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解を深めながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。 事務委託契約に基づき、委員会事務の適正処理に努めます。
気仙沼市ボランティア連絡会	登録する各地域ボランティア団体が年間を通して会議、研修、行事等を共同して行うことで情報共有と意識の高揚、各団体の活動への反映等が行われるように適切な運営支援と事務処理を行います。
気仙沼市老人クラブ联合会	老人クラブ活動の活性を図り、老人クラブ联合会事務の適正な運営に努めます。
本吉町老人クラブ联合会	全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の積極的な推進と併せ、関係機関や団体等との連携強化によるクラブ組織の基盤強化の推進、女性リーダーの育成と女性部活動の充実強化を重点目標とし、団体の適正な運営支援に努めます。
本吉町遺族会	平成27年4月1日付気仙沼市遺族会との合併により本吉地区遺族会として、市遺族会との連携を密にし、英靈の顕彰と慰靈に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員生活相談に関する事業など、団体の適正な運営支援に努めます。